

令和5年度 廿日市市立地御前小学校 学校評価自己評価表 (当初)

学校教育目標 『自ら学び解決していく力を身に付ける児童の育成』	
目指す児童像	○元気に通う子 ○自分の言葉で進んで表現し友達とともに高まる子
目指す学校像	○地域とともにに歩む学校 ○人やものに感謝する心が育つ学校
目指す教職員像	○誠実で信頼される教職員 ○協働して職務を果たす教職員

評価	
A : 目標達成 (目標値+4%以上)	B : ほぼ達成 (目標値±3%)
C : もう少し (-4%~9%)	D : できていない (-10%以上)

評価計画

中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標値	担当	結果	評価 (中間)	今後に向けて
確かな学力の定着 主体的な学びの推進	主体的に課題に取り組み、自己調整しながら学習する児童の育成 (市共通項目)	○協働的な学びの推進 ・考えを深めるための練り上げ構想 ・相手意識をもって説明するためのノートやタブレット端末の活用	・学期末テストにおいて、「思考・判断・表現」65%以上の児童の割合	80%	教務・研究			
		◎個別最適な学びの推進 (中学校区共通項目) ・児童自身が進められる学習計画表の活用 ・自己調整につながる振り返り ・個別課題に取り組めるタブレット端末の活用	・個別最適な学びに取り組める単元を各学期1回以上実施した学級の割合	100%				
豊かな心の育成	相互評価や自己の振り返りにより自己有用感を高める児童の育成	○挨拶の定着 ・学級指導、学級活動、児童会活動における挨拶への取組実施	・児童アンケート「自分から進んで挨拶ができた」児童の割合	85%	生徒指導			
		○自己有用感の向上 ・各教科、特別活動、総合的な学習の時間、掃除等における学年交流の推進	・児童アンケート「ペア学年・異学年交流により自分のよさを感じた」児童の割合	85%				
健やかな体の育成	各種運動の基礎となる走力の向上	○体育科授業の工夫改善 ・サーキットトレーニングの位置づけ ・「走の運動遊び」を取り入れた授業改善 ・「走り方教室」の実施(3~6年)	・年度当初に計測した50m走の記録を上回る児童の割合 ・サーキットトレーニングを体育の全授業で50%以上実施したクラスの割合	70% 100%	保健体育			